

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110041	X-01-A-1-110041	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
文学	矢口 裕子			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年

授業目的

かつてアメリカ文学の古典ないし正典は、DWM (Dead White Male: 死んだ白人男性) の手になるものと相場が決まっていた。女性作家はせいぜい文学史の「脚注」で扱われるにすぎず、マイノリティ作家は「見えない人間」も同然の存在だった。だが、1980年代後半以降「性・階級・民族性」という新しい三つの批評的視点をもって古典を読み直し、埋もれていた作家を(再)発見する試みが盛んに行われるようになった。本講義は、そうした批評史の流れを意識しつつ、異文化理解の精神を研ぎ澄ますのに格好の素材であるアメリカ文学が描く少年・少女に着目し、19世紀から二作品、20世紀から二作品、計四作品を取りあげて論じる。講義にタイトルをつけるなら「少年少女のアメリカ文学」となろう。なお、取りあげる作品を一部変更することもありうる。

各回毎の授業内容

第1回 【授】イントロダクション 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第9回 【授】ルイザ・メイ・オールコット『若草物語』①作家の紹介 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第2回 【授】マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』①作家の紹介 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第10回 【授】ルイザ・メイ・オールコット『若草物語』②作品購読 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第3回 【授】マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』②作品購読 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第11回 【授】ルイザ・メイ・オールコット『若草物語』③批評史概観 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第4回 【授】マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』③作品購読 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第12回 【授】アナイス・ニン『リノット—少女時代の日記』①作家の紹介 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第5回 【授】マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』④批評史概観 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第13回 【授】アナイス・ニン『リノット—少女時代の日記』②作品購読 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第6回 【授】J.D. サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』①作家の紹介 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第14回 【授】アナイス・ニン『リノット—少女時代の日記』③批評史概観 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第7回 【授】J.D. サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』②作品購読 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第15回 【授】まとめ 【前・後】総復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)
第8回 【授】J.D. サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』③批評史概観 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める(予習復習に4時間)	第16回 【授】レポート 【前・後】レポート執筆

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	30	30	10		30		90
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

授業内に課す少レポート、コメントへの講評

教科書参考書

授業中に指示する。

受講に当たっての留意事項

出席のための出席は意味がない。私語は厳禁。自分が欠席した回の情報は自己責任で回収すること。レポート執筆に際しては作品を読了することが前提である。

学習到達目標

批評的視点をもって文学を読み、「感想」ではなく「レポート」と呼ぶにたるものを書く能力が身につく。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習